

東北地方 1 か月予報

(8 月 1 0 日から 9 月 9 日までの天候見通し)

平成 1 4 年 8 月 9 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

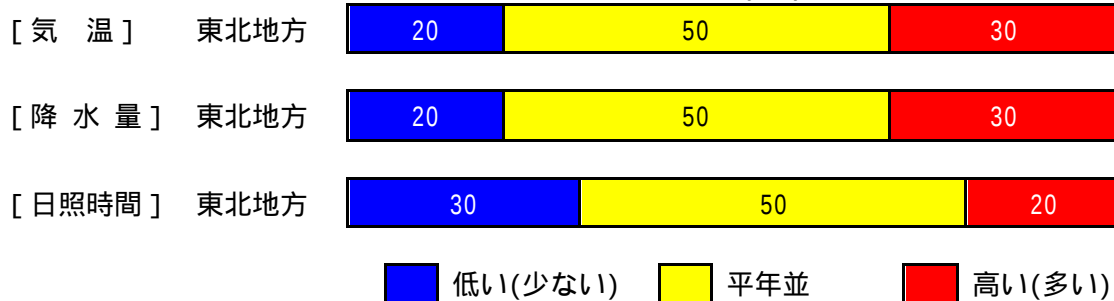
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

高気圧に覆われ平年と同様に晴れますが、前線や低気圧の影響で曇りや雨となる時期がある見込みです。

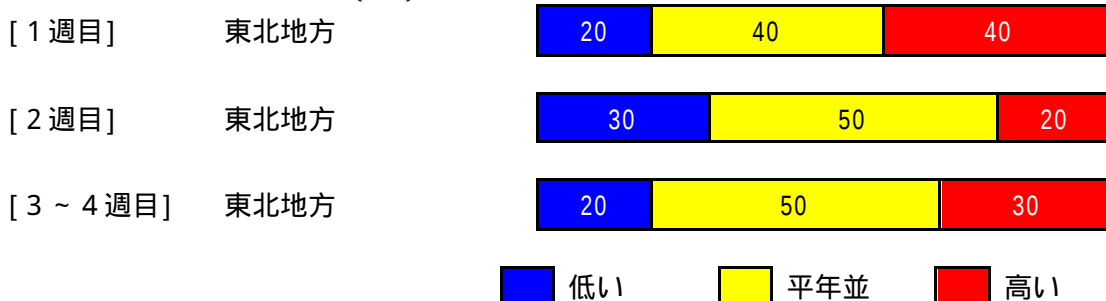
向こう 1 か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並が高い、2 週目、3 ~ 4 週目は平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温，降水量，日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 8 月 1 0 日 (土) ~ 9 月 9 日 (月)
1 週目 : 8 月 1 0 日 (土) ~ 8 月 1 6 日 (金)
2 週目 : 8 月 1 7 日 (土) ~ 8 月 2 3 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 8 月 2 4 日 (土) ~ 9 月 6 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 8 月 1 6 日
3 か月予報 : 8 月 2 0 日 (火) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温，降水量，日照時間と 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温 ()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	22.3	213.9	145.5	23.2	22.9	21.9
新庄	22.9	164.8	160.2	24.3	23.8	22.3
若松	23.9	126.0	181.9	25.0	24.7	23.4
深浦	22.3	169.9	176.9	23.4	23.0	21.8
青森	22.2	133.1	180.9	23.4	22.8	21.7
むつ	20.9	155.2	144.2	21.9	21.5	20.5
八戸	21.6	158.5	160.4	22.6	22.2	21.1
秋田	23.6	188.7	190.8	24.9	24.5	23.0
盛岡	22.2	178.2	146.2	23.5	23.1	21.5
宮古	21.5	192.4	150.5	22.5	22.2	21.1
酒田	24.0	186.7	197.1	25.3	24.9	23.4
山形	23.6	146.7	170.4	24.9	24.5	23.1
仙台	23.4	184.0	142.4	24.3	23.9	23.0
石巻	22.9	136.2	163.8	23.7	23.5	22.5
福島	24.3	146.1	144.7	25.4	25.1	23.9
白河	22.5	231.9	143.0	23.5	23.2	22.1
小名浜	23.7	152.3	180.9	24.0	24.1	23.5

なお、気温，降水量，日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温，降水量，日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差 ()	降水量平年比 (%)	日照時間平年比 (%)
東北地方	-0.4 ～ +0.5	75 ～ 119	90 ～ 108
東北日本海側	-0.4 ～ +0.6	78 ～ 109	91 ～ 108
東北太平洋側	-0.3 ～ +0.5	70 ～ 119	88 ～ 110

（３）この予報期間の 1 週目，2 週目，3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.7 ～ +0.9	-0.6 ～ +0.8	-0.5 ～ +0.8
東北日本海側	-0.7 ～ +0.9	-0.6 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.7
東北太平洋側	-0.7 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.8	-0.4 ～ +0.7

< 参考資料（利用上の注意） >

- （１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。
- （２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60 % の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33 %）から大きく隔たった確率（10 %や 60 %、70 %など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。
- （３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 14 年 8 月 9 日 仙台管区気象台

1．可能性の大きな天候の特徴

向こう 1 か月(8 月 10 日～9 月 9 日)：

高気圧に覆われ平年と同様に晴れますが、前線や低気圧の影響で曇りや雨となる時期がある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

1 週目(8 月 10 日～8 月 16 日)：

東北北部は期間の前半は、気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多く、後半は概ね晴れるでしょう。東北南部では、高気圧に覆われ晴れる日が多く、期間の前半は厳しい暑さが続く見込みです。

平均気温は平年並が高いでしょう。

2 週目(8 月 17 日～8 月 23 日)：

高気圧に覆われ晴れる日もありますが、前線や低気圧の影響で曇りや雨となる日もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

3～4 週目(8 月 24 日～9 月 6 日)：

高気圧に覆われ平年と同様に晴れますが、前線や低気圧の影響で曇りや雨となる時期もある見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

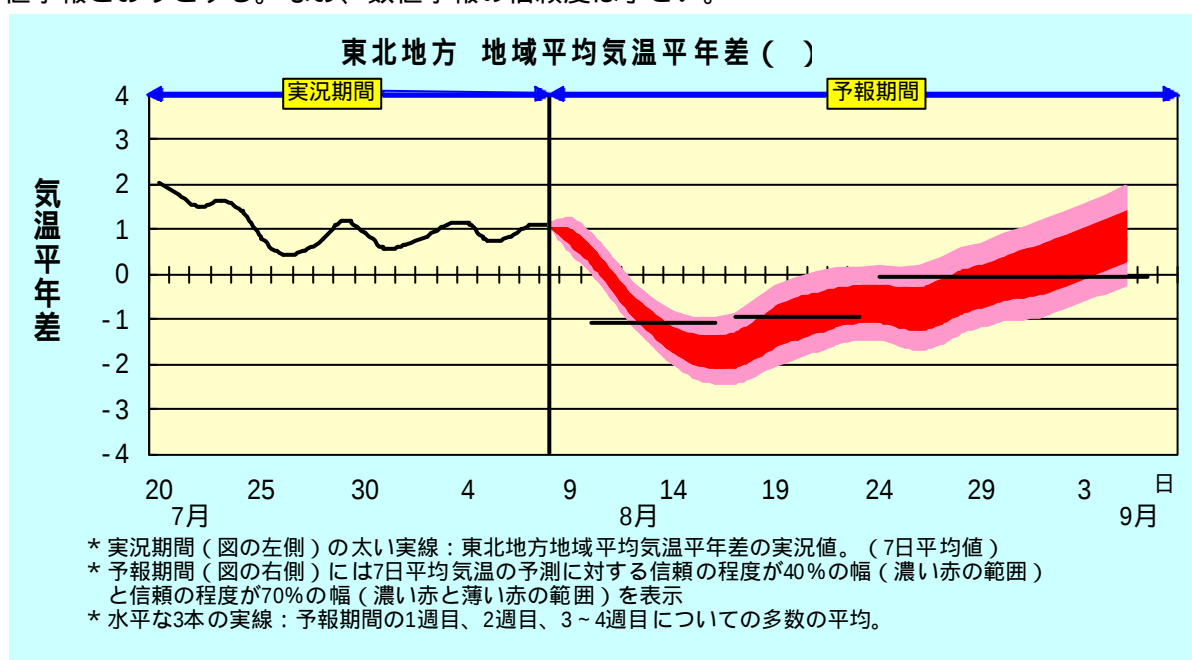
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	16.0 日	4.4 日	3.9 日	7.7 日
東北太平洋側	13.8 日	3.7 日	3.3 日	6.8 日

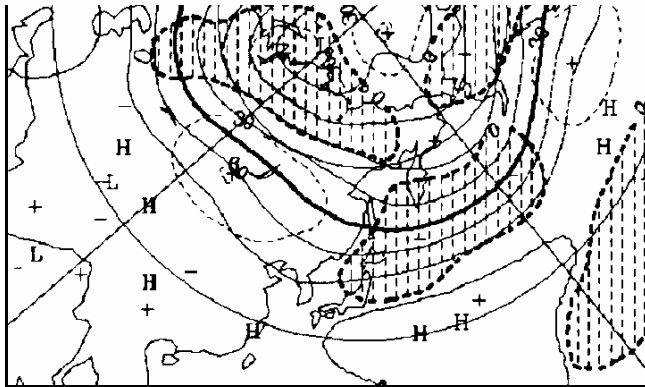
2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1、2 週目は「低い」、3～4 週目は「平年並」を予測している。

予報は、その他の資料より 1 週目を「平年並が高い」、2 週目を「平年並」とし、3～4 週目は数値予報どおりとする。なお、数値予報の信頼度は小さい。



3. 循環場の特徴（アンサンブル平均天気図）

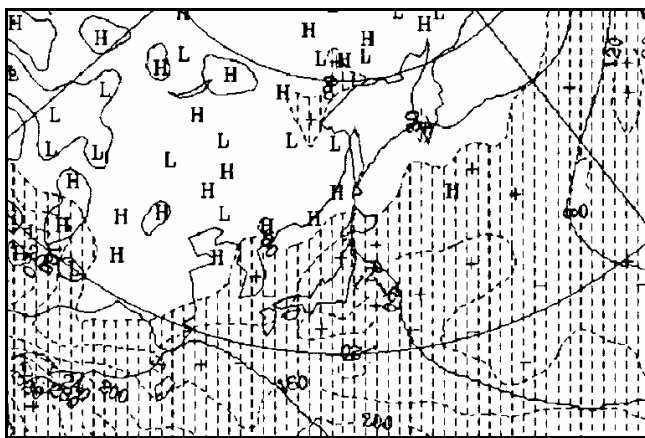


月平均の 500hPa 高度・偏差
等高度線：60m 毎、偏差：30m 毎、陰影部：負偏差

500hPa 高度・偏差

月平均で見ると、千島列島からアリューシャン付近が谷場となり北日本まで負偏差に覆われる。一方、バイカル湖付近を中心に大陸は広く正偏差となる。

週別（図略）では、1、2 週目はカムチャッカ半島付近から北日本（2 週目は東日本も）にかけて負偏差となる。3、4 週目は、日本の東側でも太平洋高気圧の勢力が次第に強まる見込みで、本州付近は正偏差となる。



月平均の地上気圧と降水量
等圧線：4hPa 毎、降水量：40mm 毎、陰影部：80mm 以上

地上気圧と降水量

月平均で見ると、北日本から華北にかけての高圧帯は平年より強く、太平洋高気圧は北緯 30 度帯に沿って西に張り出す。日本の南海上が低圧部となって降水域が予想され、東北地方にもかかる。

週別（図略）では、1 週目に日本海にまとまった降水域が予想され東北北部にかかる。2 週目は日本の南海上が低圧部となり降水域も南下する。3、4 週目は月平均とほぼ同様に、太平洋高気圧の縁に沿ってまとまった降水域が予想され、一部が東北地方にもかかる。

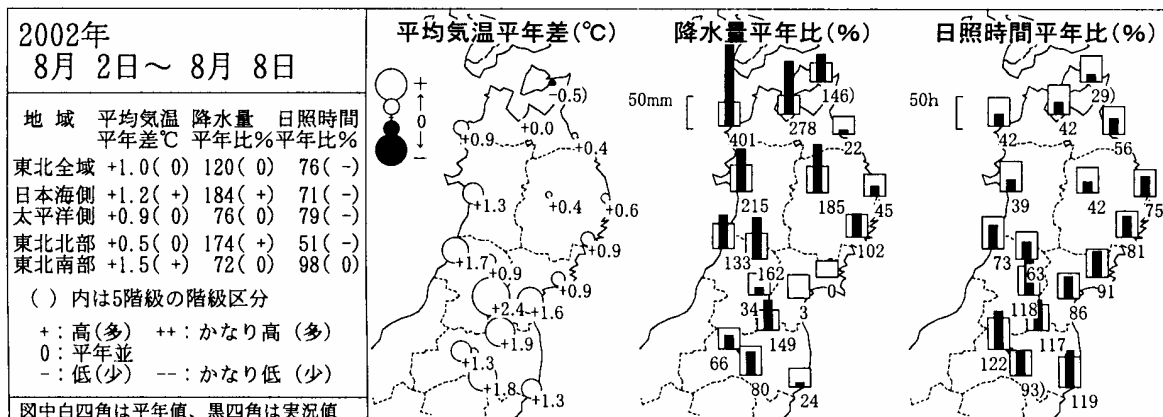
4. 最近 1 週間（8 月 2 日～8 月 8 日）の天候の経過

東北北部は前線や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった所もあった。東南北部は、前半は前線や寒気の影響で曇りや雨となったが、後半は高気圧に覆われ概ね晴れて厳しい暑さとなった。

なお、4日は各地で雷が発生し、岩手県では落雷による被害が発生した。

7日には、東南北部の高温に関する東北地方気象情報を発表した。

平均気温は、東北北部で平年差+0.5 と平年並、東南北部で平年差+1.5 と高かった。降水量は、東北日本海側で平年比184%と多く、東北太平洋側で平年比76%と平年並だった。日照時間は、東北北部で平年比51%と少なく、東南北部で平年比98%と平年並だった。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）